

4年	科目	学外実習Ⅱ	実習	前期または後期	担当	西田友久 NISHIDA Tomohisa
機械工学科		Off-Campus Training II	選択	2履修単位		
授業の概要						
長期休業中(原則として夏期休業中)に, 企業または研究機関等において実習を行い, 生産現場または研究機関等における研究・開発・生産などの活動を体験する。工業技術の体得とともに, 実務経験を通じて技術者としての労働観, 職業観を育成する。実施期間は2週間(60時間)とする。						
本校学習・教育目標(本科のみ)	目標		説明			
			1	技術者の社会的役割と責任を自覚する態度		
	2	自然科学の成果を社会の要請に応えて応用する能力				
	3	工学技術の専門的知識を創造的に活用する能力				
	4	豊かな国際感覚とコミュニケーション能力				
○	5	実践的技術者として計画的に自己研鑽を継続する姿勢				
プログラム学習・教育目標(プログラム対象科目のみ)	実践指針(プログラム対象科目のみ)			実践指針のレベル(プログラム対象科目のみ)		
授業目標						
工業技術の体得とともに, 実務経験を通じて技術者としての労働観, 職業観を育成する。						
授業計画						
実施手順		・指導教員(担任)が本人の希望にもとづいて受け入れ可能な企業などを選定する。 ・履歴書, エントリーシートなどの応募書類を作成する(企業への依頼は教務係)。 ・実習内容は企業側担当者と協議の上で決定する。 ・実習先についての事前学習を行い, レポートとして提出する。 ・実習期間中は企業側の指導にしたがって実習を行う(学校宛での開始報告・終了報告が必要)。 ・実習終了後は, 実習内容や成果についてまとめた実施報告書を提出する。 ・報告会で実習内容などを口頭発表(ポスターセッションを含む)する。 ※不測の事態などの場合は必ず指導教員に連絡すること。緊急の場合は学生課でもよい。				
評価方法と基準		事前学習レポートと実施報告書が提出され, 報告会で口頭発表を行った者に対して以下の割合で評価する。 ①履歴書・エントリーシートなどの応募書類10%, ②事前学習レポート25%, ③開始・終了報告10%, ④実施報告書25%, ⑤報告会30% 60点以上を合格とするが, 成績評価は評語(A, B, C, D)をもって行う。				
教科書等						
備考		1.試験や課題レポート等は, JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。				

